

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 28 (2016) 年 11 月 24 日

第 26 号

発行 株式会社ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、
教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに
関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供し
ています。

中央教育審議会
教育課程企画特別部会

授業づくりや部活動など 指導のための環境整備求める

「審議のまとめ」のヒアリング結果を公表

11月14日、中央教育審議会の教育課程企画特別部会では、「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」(8月26日)に対するヒアリング結果を検討した。

主なヒアリング結果として、学習指導については、「アクティブ・ラーニング等の用語について具体的にイメージできるような分かりやすい説明が必要」「パソコンや無線LAN等整備のための財政措置が必要」「外国語教育への課題として専科教員やALT等の人的配置、授業時数の確保方策などの検討が必要」などといった、学校現場に分かりやすい説明や次期学習指導要領実施に向けた環境整備を求める声が多かった。

また、部活動については、教員の負担軽減の観点から指導体制の見直しや教育課程との関連付けを検討することなどが要望された。

幼児教育については、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に関し、「資質・能力と関連させた示し方を工夫すること」や、「それらが達成度を評価する方向に行かないように」との意見があった。

特別支援教育については、「各教科等において、知的障害者である児童生徒に対して育成を目指す資質・能

力を明確にすること」や、「各教科等の内容の取扱いを整理し分かりやすく示すことが必要」との声があった。

ヒアリングは、10月6日、17日、31日、11月4日の計4回にわたり、各種校長会や教頭会、学校種団体、教職員組合、教育長会、経済団体など50団体から意見聴取を行った。

さらに、9月9日から10月7日までに広く意見募集を行い、個人1,587人、162団体からも意見が寄せられた。

改訂の方向性については、教育内容の削減を行わないことについて、「消化不良にならないための具体策や実践例などの提供」「業務の効率化や教職員定数の拡充」を求める声が聞かれた。

部活動については、「休養日や活動時間の在り方への適切な配慮」「顧問を教員に強制しない」などがあった。

学習指導については、「主体的・対話的で深い学びを実現するためには、研修や教材研究などに教員が時間をかけられるよう業務を適正化」「カリキュラム・マネジメントが学校の特色を無視した管理強化にならないように」との意見があった。

プログラミング教育については、「10年以上先にどのような技術が通用するのか考えることが必要」「イメージが共有されにくい。各教科との関連性など具体的に示す必要がある」という意見が見られた。

その他、海洋教育や主権者教育としての憲法教育の必要性、LGBT(性的多様性)への配慮など様々な意見が寄せられた。

これらを踏まえ、文部科学省では、答申等の精査を進めるとともに、必要な環境整備のための予算措置を検討していく意向。答申は12月中旬を予定。

平成29年1月
から
毎月中旬発行
ご予約受付中!

大好評の月刊シリーズ『新教育課程ライブラリ』
続刊ご要望にお応えして——
第2期刊行決定!

新教育課程 ライブラリ

II

全12巻

ぎょうせい編、A4判、表紙オールカラー、本文96頁（2色刷り16頁／1色刷り80頁）、横組

各巻定価（本体1,350円＋税）各巻送料215円
セット定価（本体16,200円＋税）送料サービス

新教育課程、いよいよ本格始動。 実行・実践の一年を徹底サポートします!

新しい学習指導要領を生かした学校づくり・授業づくりをどう進めるか？
日々の取組に役立つ具体的な情報や実践事例を毎月お届けします。

■特集テーマ（予定）

- Vol.1（平成29年1月刊）
- Vol.2（平成29年2月刊）
- Vol.3（平成29年3月刊）
- Vol.4（平成29年4月刊）
- Vol.5（平成29年5月刊）
- Vol.6（平成29年6月刊）
- Vol.7（平成29年7月刊）
- Vol.8（平成29年8月刊）
- Vol.9（平成29年9月刊）
- Vol.10（平成29年10月刊）
- Vol.11（平成29年11月刊）
- Vol.12（平成29年12月刊）

中教審答申を読む（1）——改訂の基本的方向

中教審答申を読む（2）——学校現場はどう変わるか

Vol.3～Vol.12で予定される特集テーマの例

- 「深い学び」を考える
- 新学習指導要領の改訂ポイント
- 総則からみるこれからの学校づくり・授業づくり
- 三つの資質・能力から考えるこれからの学校経営
- 次世代を育てる学校・教師
- 新たな授業プロセスの開発と教材研究
- 新教育課程における保幼小連携
- 地域と創る教育課程
- 個に応じた指導と支援
- 完全実施に向けた論点整理と学校の対応課題 など

*各巻特集テーマ名は変更する場合がございます。

大好評発売中!
月刊シリーズ

新教育課程ライブラリ

Vol.11 「社会に開かれた教育課程」を考える

ぎょうせい編/A4判/定価（本体1,350円＋税）/全12巻セット定価（本体16,200円＋税）

■特集——「社会に開かれた教育課程」を考える

●解説 ○「社会に開かれた教育課程」の意義と条件（吉富芳正）/○地域とかわり学びの場を広げる教育課程の（明石要一）/○「社会に開かれた教育課程」における学習活動（村川雅弘）/○「社会に開かれた教育課程」が求める人間像とは（無藤 隆）/○学校における「社会に開かれた教育課程」の開発課題（小島 宏）/○カリキュラム論からみる「社会に開かれた教育課程」（安彦忠彦） ●事例 ○十河の香りを育み、未来を拓き社会に出る教育～6つの資質・能力「5領域カリキュラム」の学習を「問題解決的実践学習」で深める（高松市立十河小学校）/○地域・社会との協働を目指した学校経営～「玉中総合教育会議」を通じて（熊本県玉名市立玉名中学校）/○「社会に開かれた教育課程」の実現に通じるカリキュラム～20年の歳月を経た教科「未来総合科」の成果（鎌田明美）/○子どもの姿で教育復興を目指す「ふるさと創造学」（福島県富岡町立富岡第一小学校・富岡第二小学校）

Vol.11
11月16日刊

●「きょういくプレス」無料メール配信サービスのご登録を承り中です。右QRコードから登録専用サイトにアクセスいただけます。ぜひお申し込みください。



●ご注文・お問い合わせ先

株式会社 ぎょうせい
フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Webサイト <http://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者